



2023年4月5日

各 位

会社名 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション  
代表者 取締役社長 村尾 修  
(コード番号 6674 東証プライム)  
問合せ先 コーポレート室長 松島 弘明  
(TEL.075-312-1211)

### 長期ビジョンおよび中期経営計画策定のお知らせ

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーションは、このたび、2035年に向けた長期ビジョン(Vision 2035) および2023年度から2025年度までの3年間の中期経営計画(第六次中期経営計画)を策定しましたので、お知らせいたします。

なお、長期ビジョン・中期経営計画の投資家様向け説明会は4月6日(木)に開催予定です。

### 記

#### I. 当社を取り巻く事業環境

2050年カーボンニュートラルに向けた持続可能な社会の実現、コロナ禍により急加速した社会のデジタルトランスフォーメーションという大きな潮流により、当社の主力事業である蓄電池や電源などのエネルギーデバイスの事業環境は大きく変わりつつあります。

自動車業界では、100年に一度の変革期と言われ、急速に電動化が進むなか、バッテリーは始動用だけでなく、駆動用、バックアップなど、性能・安全性に関わる主要な機能を求められるようになっていきます。

定置用分野では、バックアップ用途だけでなく、再生可能エネルギーの利用安定化のための重要インフラとして蓄電池が位置付けられるようになり、今や蓄電池はモビリティ、社会インフラの両面で大きな役割を求められており、持続可能な社会に対する当社の役割を果たす機会は、ますます増えると考えています。

## II. Vision 2035 の概要

### 1、企業理念

#### 革新と成長

GS YUASA は、社員と企業の「革新と成長」を通じ、人と社会と地球環境に貢献します。

### 2、サステナビリティ経営方針

GS YUASA は、電池で培った先進のエネルギー技術で世界のお客様へ快適さと安心をお届けし、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指します。

1. サステナビリティ課題の解決に貢献し、社会と共に永続的に成長します。
2. 公正で健全な経営を遂行し、持続的な成長を支える強固な事業基盤を保持します。
3. 多様なステークホルダーと対話し理解を得ながら、信頼関係を構築します。

### 3、2035 年のありたい姿

GS YUASA は、4つの「Re」をキーワードにエネルギー技術の革新をすすめ、モビリティと社会インフラの成長による社会課題解決に貢献し、持続可能な社会と人びとの快適な生活環境を実現します。

- Reborn** : 100 年事業を実現した創業者精神を呼び起こす
- Renewable** : カーボンニュートラル実現へ貢献
- Reliable** : 技術革新に拘り、信頼できるエネルギーを届け続ける
- Respect** : SDGs への取組を尊重し、社会に貢献

## III. 第六次中期経営計画の概要

### 1. 第六次中期経営計画方針

Vision 2035 で描くありたい姿実現に向けた変革のための土台作りの期間と位置づけ、事業構造変革に向けた諸施策を実行する。

### 2. 実行施策

#### ①BEV 用電池開発

- ・ Honda との合弁会社を活用した高容量・高出力なリチウムイオン電池開発
- ・ モビリティ・社会インフラビジネス拡大のための BEV 用電池生産/供給体制整備

#### ②既存事業の収益力強化

- ・ 徹底した付加価値創出と収益性改善
- ・ 国内産業電池電源事業における圧倒的な優位性による利益最大化
- ・ 中国事業見直しを含む地域戦略の転換、主要拠点へのリソース集中と利益の最大化

#### ③DX/新規事業

- ・ 事業構造転換を可能にする DX 推進
- ・ 社会課題解決に貢献する新規事業創出

### 3. 経営目標

① 計画期間 2023年4月～2026年3月までの3ヵ年

② 中期経営目標

	目標
売上高	6,100億円以上
営業利益	410億円以上
ROE	8%以上
ROIC	10%以上
総還元性向	30%以上

※上記指標はのれん償却前利益（営業利益・当期純利益）に対するものです。

### 4. 財務政策

投下資本に対する効率性向上を図り、必要資金は自己資金にて調達することを原則として以下を目指します。

債務償還年数（2025年度） 3年程度

自己資本比率 40%以上維持

### 5. 設備投資

	設備投資累計額		設備投資累計額
自動車電池事業	320億円	車載用リチウムイオン電池事業	1,050億円
産業電池電源事業	160億円	その他	370億円
		合計	1,900億円

### 6. 研究開発費用

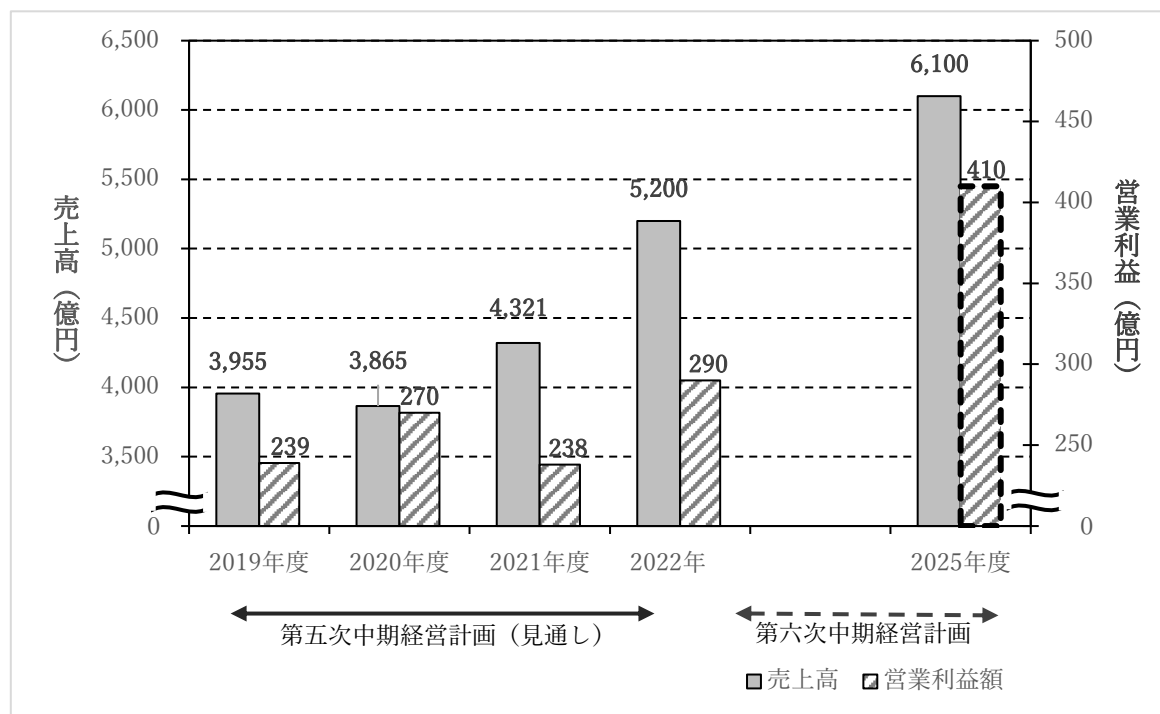
主に高容量・高出力なリチウムイオン電池開発に向けた研究開発費を投入

研究開発費用累計額 600億円

以上

<添付資料>

1. 業績と経営目標



2. 経営目標 (セグメント別)

(単位：億円)

		自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウムイオン 電池	その他	合計
		国内	海外	小計				
2025 年度	売上高	1,000	2,400	3,400	1,400	1,100	200	6,100
	営業利益※	70	170	240	110	60	0	410

※営業利益はのれん償却前営業利益です。